

新規項目受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、この度 CCR4 タンパク検査を受託開始させていただくことになりましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬白

記

■受託開始項目 **CCR4 タンパク（免疫染色病理組織標本）**（項目コード：8176）※検査案内未掲載

■受託開始日 平成24年6月25日（月）受付分より

■検査要項

検査項目	検査材料	検査方法	保存方法	実施料点数	所要日数
8176 CCR4 タンパク	未染標本スライド4枚	免疫染色 (酵素抗体法)	室温	10,000 点 病理判断料：150 点	7～10 日
	パラフィンブロック				
	ホルマリン固定病理組織				

*実施料点数：D006-4(4,000 点)とD023-12(6,000 点)を併せて算定する。

*CCR4 (フローサイトメトリー法による場合)を同一の目的で行った場合には、原則としていずれか一方のみを算定する。

■結果判定と解釈

判定	定義
陰性	染色される腫瘍細胞が認められないか、または腫瘍細胞のうち陽性細胞（膜および細胞質に関係なく染色される細胞）が 10%未満
陽性	腫瘍細胞のうち陽性細胞（膜および細胞質に関係なく染色される細胞）が 10%以上

*判定不能：提出材料の状態により判定できない場合は、その旨のコメントを記載します。

■臨床的意義

CCR4 はケモカイン受容体の 1 つで、ATL (Adult T-cell leukemia-lymphoma：成人 T 細胞白血病リンパ腫) においては 90% の症例で発現していることが報告されており、その発現が予後不良因子であることも明らかになっています。

この CCR4 を標的としたポテリジオ®（一般名：モガリズマブ[遺伝子組み換え]）が、「再発または難治性の CCR4 陽性の成人 T 細胞白血病リンパ腫」を適応症として 2012 年 3 月に承認されました。本治療薬の適応を判定するためには CCR4 タンパクを検出する必要があります。

本検査は病理組織検体における CCR4 タンパクの発現を免疫組織化学的手法（IHC）により検出する検査で、2012 年 4 月 1 日より検体検査実施料適用となりました。

（裏面に続く）

■ご利用上の注意

- ・「ポテリジオ®点滴静注 20mg」を投薬された患者の検体では正しい結果が得られないことがあります。
- ・ホルマリン固定不良や過固定、挫滅等、適切な細胞形態が保持されていない領域で判定を行うと、正しい結果が得られない場合があります。
- ・未染標本は4 μ mで薄切後、20～25℃で保存し、遅くとも4週以内にご提出下さい。また、コーティングガラスで作製をお願いします。
- ・固定液は10～20%のホルマリン液の使用、固定時間は24～48時間を推奨しています。

【参考資料】

ポテリジオ®テスト IHC 使用の手引き(協和発酵キリン株式会社)

Bonecchi R, et al. J Exp Med. 1988; 187: 129

Illem A, et al. J Exp Med. 2001; 194: 847

Ishida T, et al. Clin Cancer Res. 2003; 9: 3625

Li C-Y, et al. J Histochem Cytochem. 1987; 35: 1457

Elias JM, et al. Am J Clin Pathol. 1989; 92:836

Omata M, et al. Am J Clin Pathol. 1980; 73: 626

以上

*お問合せ先：029-837-2721 総合インフォメーション
2012-A-013